

緊急出版!

『「汚染水はコントロールされている」のか?』

東電の最新公表データを読み解く

荻野晃也(元京都大学工学部講師)著 10月末日発売 A5判128P 定価 950円+税 第三書館刊

安倍晋三首相はIOC総会で「状況はコントロールされている」と一世一代の大嘘トンデモ・スピーチをブチ上げて東京五輪を勝ち取った。しかし、福島第1原発ではその瞬間も、大変な事態が進行していた。

歴大な量の高度放射能汚染水が止めどなく漏れ、溢れ出し、太平洋に向かっている。本書は2013年10月現在の危機状況を東電自身の発表による最新データによって、フツーの市民向けのコトバで、分りやすく読み解き、今そこにある危機を、ともに考える。

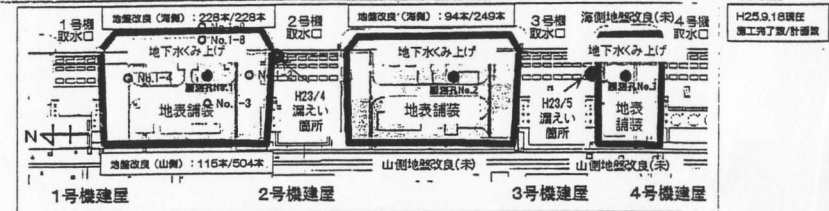
世界中が注目し、心配している。

帖合	第三書館 FAX03-3208-6623 電6668
	緊急出版 「汚染水はコントロールされている」のか? 冊 定価 950円+税

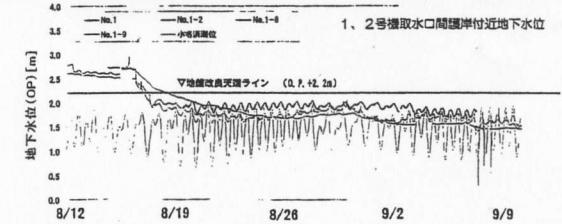
Ⅲ. 【3】汚染水対策/緊急対策(1)

対策①: 港湾への流出防止・・・汚染エリアの地盤改良等【近づけない】【漏らさない】

- ✓ 取水口間の護岸にて、地下水の港湾への流出を防ぐため、薬液注入により海側の地盤を改良するとともに、汚染エリアへの地下水流入を防ぐため山側の地盤改良を実施
- ✓ 地盤改良により堰き止めた地下水が溢れないよう、ポンプ等でくみ上げる*
- ✓ 雨水の浸透抑制のため、地表面をアスファルト等で舗装 ※立坑を経由してタービン建屋へ



<地盤改良工事>



10月2日、新たに高濃度汚染水の漏洩が発覚した。菅官房長官は「全体としてコントロールされている」と発言。10月15日、「汚染水国会」開会。本格的汚染水審議。